

◆大空襲による被害

アメリカ軍は、豊川海軍工廠を空襲する参考とするため、昭和19年(1944)に上空から写真撮影を行い、施設の構造などを分析して空襲の計画を立案していきました。そして、昭和20年(1945)8月7日、午前10時13分からわずか26分間に3,256発もの500ポンド爆弾が落とされ、工廠は大きな被害を受けました。この空襲により、2,500人以上の命が奪われ、その数倍の人々が負傷する事態となりました。

平和な今の時代、かつて豊川の地においてこのような出来事があったことは想像もできないのではないのでしょうか。



●空襲を受け破壊された工廠（正門付近）

【昭和】年月日												事 項
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	12	11	
6	15	9	7	6	24	15	1	20	5	19	11	23
豊川海軍工廠解散式												日本海軍、仮称「A工廠」（後の光海軍工廠）と仮称「第二A工廠」（後の豊川海軍工廠）の建設計画を決定
太平洋戦争終結												新設工廠用地に本野ヶ原を選定
長崎に原子爆弾投下される												仮称「第二A工廠」の建設を開始
豊川海軍工廠被爆。米軍B29爆撃機124機、P51戦闘機45機による爆撃を受け事実上壊滅。死者は2千5百人以上、負傷者は1万人以上とされる												豊川海軍工廠開庁式。初代工廠長は神保勉一少将
豊川海軍工廠工員養成所（仮校舎）開校												豊川海軍工廠工員養成所（仮校舎）開校
豊川海軍共済組合病院（後の豊川海軍共済病院）竣工												豊川海軍共済組合病院（後の豊川海軍共済病院）竣工
二代目工廠長、相馬六郎少将（後に中将）着任												二代目工廠長、相馬六郎少将（後に中将）着任
対米英宣戦布告（太平洋戦争勃発）												対米英宣戦布告（太平洋戦争勃発）
新たに光学部を開設												新たに光学部を開設
豊川・牛久保・国府の三町と八幡村が合併し、市制が施行され豊川市が誕生												豊川・牛久保・国府の三町と八幡村が合併し、市制が施行され豊川市が誕生
新たに指揮兵器部を開設												新たに指揮兵器部を開設
三代目工廠長、清水文雄少将（後に中将）着任												三代目工廠長、清水文雄少将（後に中将）着任
新たに器材部を開設												新たに器材部を開設
女子挺身勤労令公布・施行												女子挺身勤労令公布・施行
米軍機、工廠を上空より写真撮影。工廠に爆撃を行う際の効果を分析												米軍機、工廠を上空より写真撮影。工廠に爆撃を行う際の効果を分析
工廠初の被爆。指揮兵器部第一機械工場付近が被爆。30余人の犠牲者がでたという。また市内土筒・当古・雨谷にも爆弾落下し7人の犠牲者がでる												工廠初の被爆。指揮兵器部第一機械工場付近が被爆。30余人の犠牲者がでたという。また市内土筒・当古・雨谷にも爆弾落下し7人の犠牲者がでる
工廠上空から多数のビラ（伝單）がまかれる												工廠上空から多数のビラ（伝單）がまかれる
工廠にP51（ムスタング）来襲。銃架工場被弾し負傷者あり												工廠にP51（ムスタング）来襲。銃架工場被弾し負傷者あり
工廠上空から多数の降伏勧告ビラ（伝單）がまかれる												工廠上空から多数の降伏勧告ビラ（伝單）がまかれる
広島に原子爆弾投下される												広島に原子爆弾投下される
豊川海軍工廠被爆。米軍B29爆撃機124機、P51戦闘機45機による爆撃を受け事実上壊滅。死者は2千5百人以上、負傷者は1万人以上とされる												豊川海軍工廠被爆。米軍B29爆撃機124機、P51戦闘機45機による爆撃を受け事実上壊滅。死者は2千5百人以上、負傷者は1万人以上とされる
長崎に原子爆弾投下される												長崎に原子爆弾投下される
太平洋戦争終結												太平洋戦争終結
豊川海軍工廠解散式												豊川海軍工廠解散式

◆豊川海軍工廠のあゆみ

◆工廠で働いた人々

豊川海軍工廠では、その規模からも分かるように大量の人々が兵器生産に従事していました。現在確認できる資料に基づいて従業員数を明らかにするのは難しいですが、最盛期にはおおそ5万人以上の人々が交代で働いていたと推定され、職員や工員以外に徴用工員（女子挺身隊を含む）や動員学徒のように強制的に動員された人々も多くいました。

工廠での仕事は、「産業戦士」と言われるように厳しくつらいもので、寄宿舍住まいの徴用工員や動員学徒などは、日常生活の全てにわたって、軍隊並みの規律正しい生活をしていました。

●豊川海軍工廠の従業員数（昭和20年8月頃）

職 員	廠長(中将)	1名
	部長(少将・大佐)	9名
	主任(佐官級)	40名
	係官(尉官級)	550名
	係員(判任官・書記・技手)	100名
工 員	工長(下士官)、工手、職手、一等工員、二等工員	10,000名
徴 用 工 員	徴用工、女子挺身隊、朝鮮人徴用工	40,000名
動 員 学 徒	大学、高専、師範、中学校、男子実業学校、高等女、女子実業学校、国民学校高等科	6,000名
合 計		56,700名

※上表は、ハチ会発行「豊川海軍工廠の記録 陸に沈んだ兵器工場」より引用した資料ですが、現在も実数は不明です。



●レンス研磨作業風景

豊川海軍工廠では、その規模からも分かるように大量の人々が兵器生産に従事していました。現在確認できる資料に基づいて従業員数を明らかにするのは難しいですが、最盛期にはおおそ5万人以上の人々が交代で働いていたと推定され、職員や工員以外に徴用工員（女子挺身隊を含む）や動員学徒のように強制的に動員された人々も多くいました。

工廠での仕事は、「産業戦士」と言われるように厳しくつらいもので、寄宿舍住まいの徴用工員や動員学徒などは、日常生活の全てにわたって、軍隊並みの規律正しい生活をしていました。

●豊川海軍工廠の従業員数（昭和20年8月頃）

職 員	廠長(中将)	1名
	部長(少将・大佐)	9名
	主任(佐官級)	40名
	係官(尉官級)	550名
	係員(判任官・書記・技手)	100名
工 員	工長(下士官)、工手、職手、一等工員、二等工員	10,000名
徴 用 工 員	徴用工、女子挺身隊、朝鮮人徴用工	40,000名
動 員 学 徒	大学、高専、師範、中学校、男子実業学校、高等女、女子実業学校、国民学校高等科	6,000名
合 計		56,700名

※上表は、ハチ会発行「豊川海軍工廠の記録 陸に沈んだ兵器工場」より引用した資料ですが、現在も実数は不明です。



●レンス研磨作業風景

豊川海軍工廠の絵を募集しています

当館では現在「豊川海軍工廠の絵」を募集しています。これは戦争経験者が高齢化し、戦争の事実を後の世代へ伝えることが難しくなっている状況の中で、戦争資料だけではなく、視覚的に捉えることができる絵画資料が必要と考え始めたものです。

収集した絵については、毎年開催する豊川海軍工廠展で展示公開していきます。

●募集する絵／豊川海軍工廠に関連するものであれば、空襲に限らず何でも結構です。絵の種類、技量は問いません。規格は四つ切(54×38cm)程度とします。(用紙が必要な方は桜ヶ丘ミュージアムでも配布します)。

●提出期限／期限はありません。

●その他／絵は寄贈、著作権は桜ヶ丘ミュージアムとなります。



●1945年8月7日 中学2年生がみたもの